



受賞団体と中国農政局の担当で記念撮影

八方原の宝を見せちゃろう

「わしらのムラの宝の再発見」第12回ディスカバー農山漁村の宝というコンテストで当団体は「地方奨励賞」をいただくことになりました。当団体は教育機関との連携、民間企業と連携した防災活動、広報紙の発行により一般住民の参加で活動の輪が広がっているということで応募したところ、前述の賞をいただくこととなりました。今回は全国表彰として、株

式会社あぐりてらす阿知須、地方奨励賞として当会のほか、「鹿野の嵐」プロジェクト、株式会社ときつ養蜂園、大道理区百笑倶楽部、HOVIC H Aが選出されていました。2月12日、山口県教育会館で表彰式が行われ、当会の代表が表彰を受けました。当会以外の団体とは少々取り組みの形が異なりますが、それが「八方原の環境を守る会」らしさと考えています。

冬の農道除草清掃



△長い金原農道の西端
◁石綿さんの兄妹が一生懸命の作業

1月25日、冬の農道清掃作業の最後となる金原・西ノ池農道の作業を行いました。たくさんの方の参加があり、小学生も活躍してくれました。今年はこの農道、雑草がかなりの丈に伸びたままになっており、作業には機械力が欠かせません。ただ雨が少なかったためか殆どの草が刈れてしまっています。これが草刈り機にはなかなか厄介です。刈り取った草は圃場に返してたい肥となります。

機械力が欠かせません。ただ雨が少なかったためか殆どの草が刈れてしまっています。これが草刈り機にはなかなか厄介です。刈り取った草は圃場に返してたい肥となります。

大森の水路を部分的自主施工



雪の中での作業はちょっと辛い

今年度の長寿命化事業は大森農道の南側水路の部分嵩上げをすることになりました。2月8日、自主施工として水路壁面の掘り出しと清掃作業を行いました。16日から本体工事が始まります。

LINEのグループへの参加

八方原自治会緊急連絡網のライングループへの参加手続きを変更します。左のQRコードをご自身のラインの友達追加機能で読み込んでください。



管理者の副自治会長 原田茂樹と友だちになります。その後グループへの招待を行いません。



農業の多面的機能をより発揮するには

令和7年度多面的機能市中国四国シンポジウムが今年度は愛媛県松山市で開催されました。しかも今年度の最優秀団体には鳥取県の団体と山口県周南市「ツルの郷を守る会」も選ばれました。昨年は当団体も優秀団体選ばれましたので、この大会に参加させていただき、今年度は書記の原田と役員の本田の2名が参加してきました。

代表納堂邦弘氏の「あるもの探し」でした。「無いから諦める」のではなく「あるものでやる」という考え方の転換をするべきだと、自らの事例を説明しながら、話してくれました。確かに私たちは、この地域でいろいろなものを持っていきますね。

最優秀団体の「ツルの郷保全会」は役員の人々が殆ど移住者でした。「しがらみが無いからこそやれた」と話しました。しかし、一方では「地元のは地元でやる」という考えも、かなりの割合です。どちらも魅力です。

水害対策の決め手になるか

ハイドロサブシステムは震災や水害などあらゆる災害に対応可能!

ハイドロサブ 60 (HS60)

オールインワン ハイドロサブポンプ4000
HS150と同じで、排水性能を持つトラックエンジンPTO駆動の
洪水・排水機能とホース延長・自動巻取りを1台に搭載!!

●特徴

- 排水容量: 3,000ℓ/分
- 排水圧力: 4.0MPa
- 排水距離: 45.000m

●ハイドロサブの特徴

- 排水容量・排水圧力・排水距離などあらゆる水害現場に対応
- 電動ポンプに比べ高圧ホースは自動巻取りを減らし、配管時間と人員の大幅削減が可能
- 遠征により高信頼性と安全性を確保

説明会の配布資料をたどっていくとこのパンフレットが。都市水害に有効という油圧式水中ポンプ所から当該地区の排水ポンプ設置について説明がありました。

2月13日、山口市南部土木事務所から当該地区の排水ポンプ設置について説明がありました。

一部で伝えられていた150トン毎分の排水量毎分は15トンのポンプが3台となることも分かりました。機種名の150が読み違えを招いていたようです。

しかし昨年8月の緊急ポンプ設置の際の能力の3倍ですから、余裕があると考えられます。

今までの経緯から、信頼性や安全性に質問が相次ぎました。

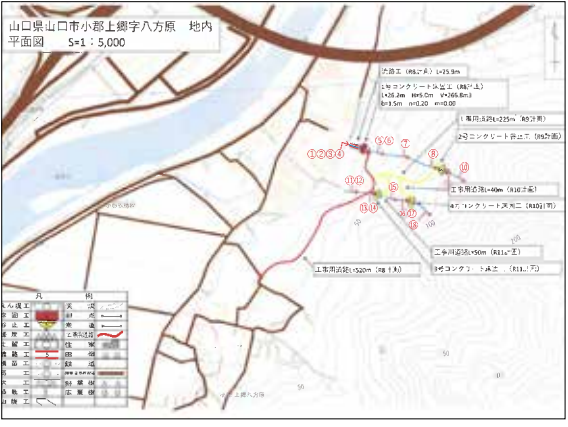


熱気に包まれた満員の会場 (2月12日 松山市正岡子規博物館)

節分の鬼と福の輪

2月3日、中郷八幡宮に「節分鬼」が登場しました。これは地元の有志が毎年こどもたちや神社の参拝者へ送る感動の「プレゼント」です。

鬼のグループが福の輪を作成して設置 (2月3日 中郷八幡宮)



赤い色で記入されているのが令和8年の施工力所

待望の治山事業が開始

八方原地区1班の東側山地。大量の雨水の流入や、土砂の崩落で被害を及ぼしてきたこの斜面に、いよいよ治山事業としての工事が始まります。

令和8年度は荒神様北側斜面の一番下部に小型の砂防堰堤とその下流に3段の調整路が予定されています。その工事のための作業道が約500メートルと、水路の横断のための橋梁が1か所となります。

今回の建造物は小型でコンクリート打設量はおおよそ350立方メートル。これから数年この工事が続きます。工事の詳細について3月8日の自治会総会で説明をお願いしています。